
令和7年度 中学校入学前説明会

飛騨市における部活動の地域展開と 令和8年度の活動のあり方

飛騨市教育委員会 学校教育課 地域クラブ活動推進室

地域移行

部活動の地域展開

↙ R7.05

(R5～R7 改革推進期間 | R8～R13 改革実行期間)



少子化・学校の働き方改革

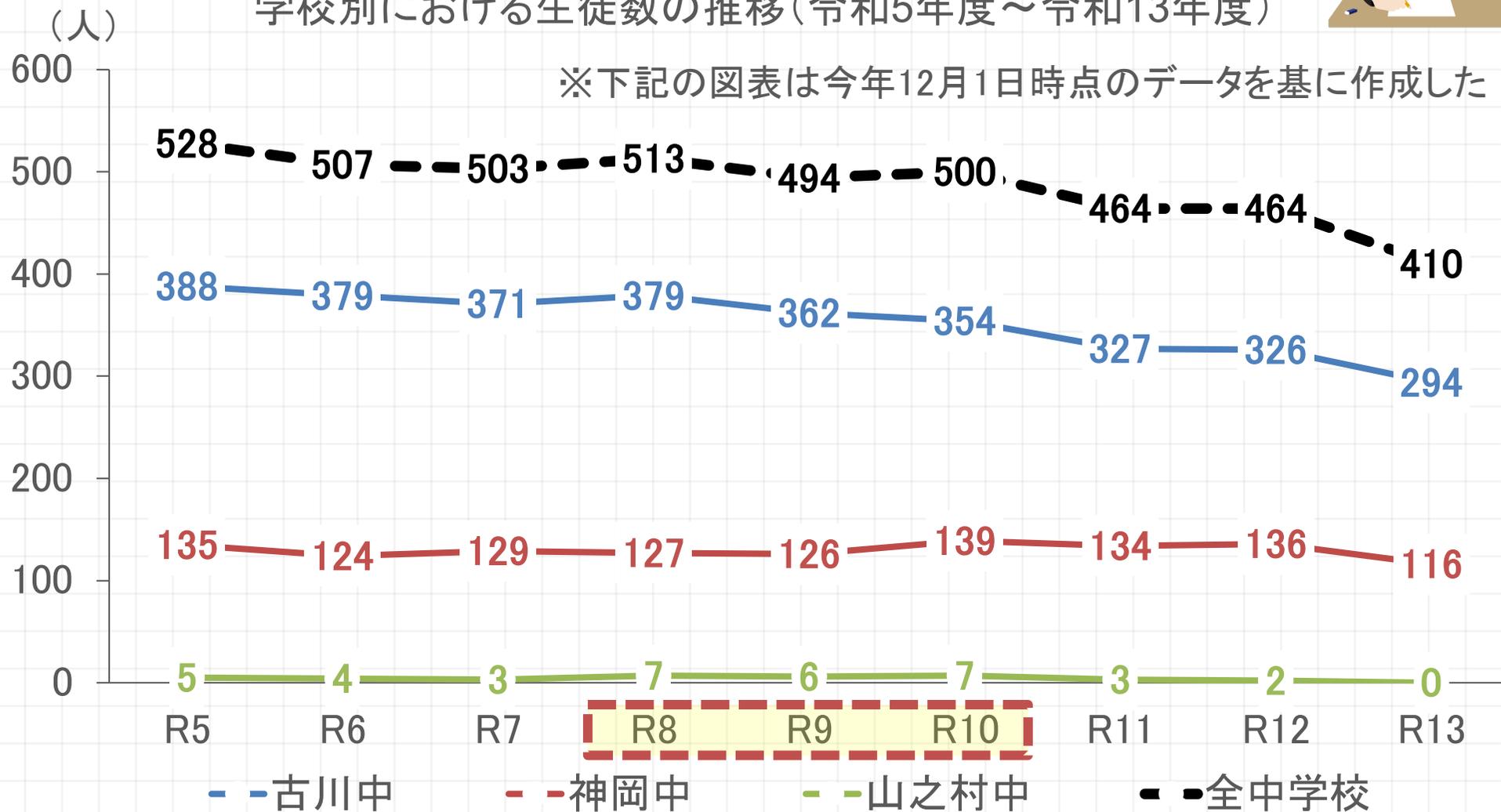
学校が主体となる学校部活動から
地域が主体となる地域クラブ活動へと
転換していくこと

学校別における生徒数の推移に関するまとめ



学校別における生徒数の推移(令和5年度～令和13年度)

※下記の図表は今年12月1日時点のデータを基に作成した



次期改革期間 (R8年度～) を経て、**生徒数の減少**が加速していく

飛騨市学園構想 (第2章)

社会総がかりで、予測困難な時代を生きる子どもたちに『幸せな人生と持続可能な社会の創り手となる力』を育むために飛騨市教育委員会が進める地域教育魅力化プロジェクト

1 ワクワクする! 教科学習

子どもたちは国語や数学、美術など教科で学ぶことが自分の日常や人生に活きるんだという実感を得ている



2 社会とつながる探究学習

興味関心を深めたり、課題を解決する学びが体系的に行われていて、教員と地域の人が共に学びの場を創造している



3 データで効果検証

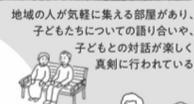
子どもたちの成長について



領域1
子どもたちが興味関心を起点に教科で学んだことを活かし面白がって「探究」している学校

4 学校はみんなの居場所

地域の人が気軽に集える部屋があり、子どもたちについての語り合いや、子どもとの対話が楽しく真摯に行われている



5 気付自然と

学校で何を職場での出が日常的に

第3回探求フェス(12月6日)



R4年度～ 協議・試行開始

育て みんなが育つ

魅力あるまち

8 夢を生み出す地域クラブ活動

部活動の地域クラブ化により、子どもたちの可能性を広げる多様で持続可能な地域クラブ活動が行われている

9 対話にあふれた地域学校協働活動

対話を通して学校・地域の課題や解決策が見い出され、活動を支える人、資金、組織体制ともに持続可能になっている



領域3
子どもたちの多様な興味関心を呼び起こし受け止める地域

10 飛騨から誕生! 学生起業家

子どもの「やりたい」が歓迎され、あらゆる知識や資源の提供がスムーズに行われ、思いが形になっている



11 学びに卒業なんてない! 市民カレッジ

一流の講師から学べたり、やりたいことが体験できるなど、多様な学びの選択肢があり、生涯通じて学び続ける喜びを感じられている



領域4

大人も子どもも面白がって遊びチャレンジが多発している地域



12 世代を超えた学び合い

大人も子どもも世代を超えて集える場があり、語り合い、学び合う姿が各地で見られている



13 学ぶ楽しさ共有! 探求フェス

心から面白いと思える学びやチャレンジを、地域内で共有し、学ぶ楽しさが広がっている



令和5年度～令和7年度の変遷（部活→実証→認定）

令和5年度

令和6年度

令和7年度

部活動

- ・従来どおりの部活動
- 4地区での説明会開催
市内の4地区で
説明会開催（約80名参加）
- 実証団体の募集
説明会を開催し、
募集実施（14団体参加）



募集説明会

部活動＋実証団体

- ・4/1 実証団体11団体
（部活と併行して実施）
- 部活動アンケート調査
子ども・保護者・教員に調
査実施（約1,300名回答）
- 市ガイドラインの策定
認定要件・在り方等を示す



中体連への出場

部活動＋認定団体

- ・4/1 認定団体11団体
（部活と併行して実施）
- アドバイザーの派遣
文化系部活動を中心に
アドバイザーを一時派遣
- 専用ページでの情報展開
市HPへ各種情報の掲載



お便りの定期配布

※上記については、多面的に取り組んだ内容の中から例として掲載しています。その他気になる場合はご質問ください。

飛騨市認定地域クラブ（認定団体）

国や市が示した要件等に基づき、学校部活動を継承・発展させた生徒のスポーツ・文化芸術活動として、市が認定した団体



~~学校部活動~~

R8年度～
（飛騨市）
中学校部活動の廃止

文化少年部

スポーツ少年団

地域スポーツ・文化活動

その他

（営利目的も含む企業や個人）

総合型

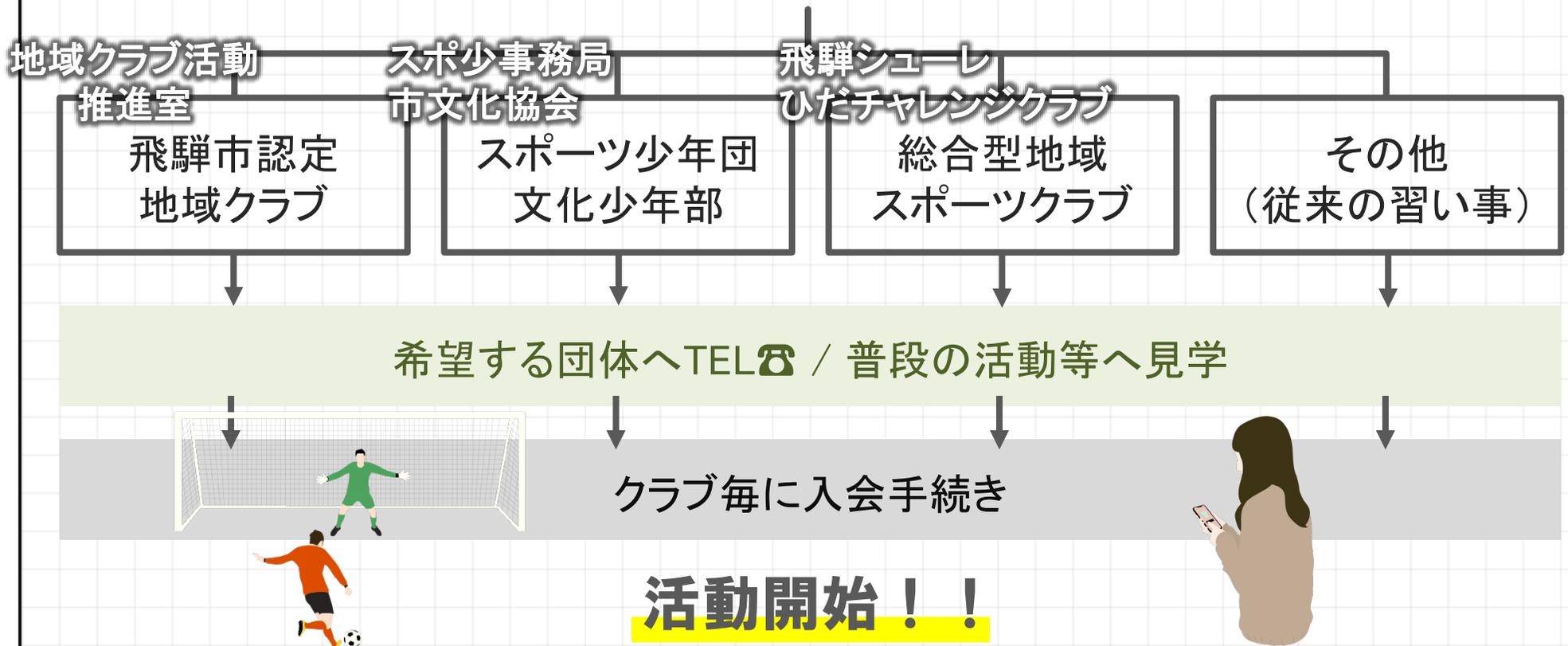
地域スポーツクラブ

様々な選択肢の中から、放課後等の過ごし方を生徒自ら選ぶ

「学校部活動」と「飛騨市認定地域クラブ」

	学校部活動	飛騨市認定地域クラブ
参加者	所属校の中学生	中学生(所属校に関わらず)
指導者	所属校の教員	地域住民(希望する教員を含む)
活動日	週あたり平日3日・休日1日 毎週、火曜・水曜・金曜・土曜	これまでと同様 (ただし、曜日に指定なし)
場所・時間	・学校施設、社会体育・文化施設 ・平日の放課後と休日	・場所は同様 ・平日の夕方以降と休日
大会参加	「部活動」として参加 ・大会申し込み・・・顧問(教員)	「クラブ」として参加 ・大会申し込み・・・主に指導者
活動計画	顧問(教員)	主に指導者＋教育委員会
保険	学校の保険 (JSC災害共済給付制度)	民間の傷害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険など)
相談窓口	所属する中学校	飛騨市教育委員会
関連規則	部活動運営基本方針	飛騨市認定地域クラブガイドライン

地域クラブ活動等をはじめまでの流れ



<留意事項>

- 入会は**強制ではありません**。各家庭で話し合って、決めてください。
- 複数団体の**掛け持ちも可能です**。
主で活動する団体は事前に決めましょう(大会等が重なる場合もあるため)。

飛驒市認定地域クラブ一覧

団体名	種目	生徒数	活動日(場所)
飛驒BBC	軟式野球	12人	週3日(古川中Gなど)
飛驒STC	ソフトテニス	15人	週4日(古川トレセンなど)
飛驒Jr.男子ソフトテニスクラブ	男子ソフトテニス	26人	週4日(古川中テニスコート)
FGB	女子バスケットボール	8人	週4日(古川中体育館)
古川男子バスケットボールクラブ	男子バスケットボール	21人	週4日(古川中体育館)
神岡 BASKETBALL CLUB	バスケットボール	9人	週4日(桜ヶ丘体育館)
古川TFC(準備中)	陸上競技	31人	週4日(古川中Gなど)
神岡陸上クラブ	陸上競技	5人	週4日(神岡小・神岡中G)
飛驒市卓球協会古川クラブ	卓球	15人	週3日(古川中格技場)
飛驒市卓球協会神岡ジュニアクラブ	卓球	14人	週3日(桜ヶ丘体育館)
飛驒バレーボールクラブTSUNAGU	バレーボール	8人	週3日(古西小体育館など)
HIDA-UNITED.JY	サッカー	24人	週4日(杉崎公園Gなど)
飛驒市剣道クラブ	剣道	7人	週3日(河合小体育館など)
飛驒柔道	柔道	4人	週3日(古川トレセンなど)
飛驒ジュニアウインドオーケストラ	吹奏楽	46人	週4日(古川中音楽室など)
合唱クラブ:仮称(準備中)	合唱	11人	週2日(古川中音楽室など)

※上記の内容については、令和8年1月時点での情報をもとに作成しています

認定団体『飛騨柔道』の例

スポーツ少年団と活動日時を合わせ、**小学生や一般とも一緒に稽古を行う**



飛騨市柔道協会

|幼児～小学生|
古川柔道少年団

|幼児～小学生|
神岡柔道少年団

|中学生|
飛騨柔道

昨年度から選手増加

|高校生～一般|
古川柔道少年団

|高校生～一般|
神岡柔道少年団

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・組織全体の統括・管理責任 ・渉外、アドバイザー 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道協会との連絡調整 ・指導者への意見・助言 など 	1人
指導者	<ul style="list-style-type: none"> ・技術指導 ・組織マネジメント ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・選手への柔道の技術指導・助言 ・練習や試合等の計画・参加申込 ・大会への引率 など 	3人 (有資格者)
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・会計管理 ・各種支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設予約、会計管理 ・お楽しみ会などの企画 など 	各家庭

国) 地域クラブ活動の認定制度と認定地域クラブ活動

国

(仮称)部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン

市区町村



飛騨市教育委員会(運営団体)

(R8.3月改訂予定)

飛騨市認定地域クラブガイドライン

①申請

④指導・助言

②確認

③認定

従来の部活動やスポーツ少年団等(実施主体)

認定地域クラブ活動

活動時間/休養日/低廉な参加費/指導体制/安全確保/学校等との連携の観点から要件あり

----- 区別・質の担保 -----

競技力向上を主目的としたチーム・スクール等



子ども・保護者への部活動に関するアンケート

令和6年7月、子ども・保護者1,600名弱にアンケートを行った

飛騨市中学校の部活動に関するアンケートについて (概要)

《調査概要》

▶ 調査目的:

飛騨市における中学校部活動の地域移行を進めるにあたって、第一に当事者である子どもたちの意見や考えを丁寧に拾いあげ、地域クラブ活動移行の推進や支援の充実を図ること

▶ 実施時期:

令和6年7月中旬～10月中旬

▶ 調査対象:

児童 (小学5年生・小学6年生 計308名)

生徒 (中学1年生～中学3年生 計507名)

保護者 (小学5年生～中学3年生 計781名)

▶ 調査方法:

Google フォームを用いたウェブ調査

《結果概要》 回答数 (回答率): 児童 260名 (84.4%)、生徒 443名 (87.4%)、保護者 414名 (53.0%)

◆ 地域移行後の地域クラブへの参加意思と他校生徒との共同活動について (児童・生徒)

図1. 地域移行後の地域クラブへの参加意思について

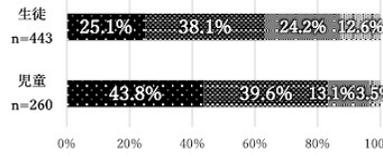
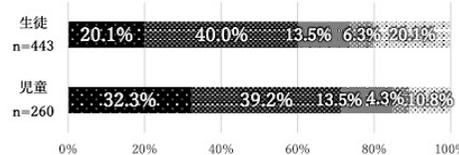


図2. 地域移行後の他校生徒との共同活動について



■ 参加したい □ どちらかといえば参加したい ■ ぜひ、やってみたい □ どちらかといえば、やってみたい
 ■ どちらかといえば参加したくない ■ 参加したくない □ どちらかといえば、やってみたい □ 全く、やってみたい
 □ わからない、想像できない

・・・地域移行後の地域クラブ活動 (他校生徒との交流) に対して、児童生徒ともに肯定的な意見が見受けられた。

◆ 地域クラブでやってみたい活動種目について (児童・生徒)

表1. 地域クラブでやってみたい活動種目について (上位10: 児童・生徒別)

順位	児童n=217 (選択者数)	生徒n=280 (選択者数)
1	トランポリン (61名)	バドミントン (53名)
2	バドミントン (56名)	バレーボール (47名)
3	ドッチボール (53名)	テニス (45名)
4	調理 (51名)	バスケットボール (44名)
5	ボウリング (47名)	サッカー (39名)
6	バスケットボール (44名)	卓球 (38名)
7	テニス (44名)	吹奏楽 (37名)
8	美術 (43名)	調理 (36名)
9	バレーボール (39名)	弓道 (30名)
10	パソコン (37名)	トランポリン (30名)

※複数選択可

《児童と生徒で共通する種目》

- ▶ バドミントン
- ▶ 調理
- ▶ トランポリン
- ▶ バスケットボール ✓
- ▶ テニス ✓
- ▶ バレーボール

※チェックマークがある種目は既に「地域クラブ」で活動中

地域クラブでやってみたい活動種目 (上位10) には、現在の中学校の部活動にない種目 [バドミントン、調理など] や普段の生活 (体育の授業や友人との集団遊び) で慣れ親しんだ種目 [バスケットボール、テニスなど] が児童と生徒で共通する種目として挙げられた。

・・・活動種目として、生徒の多様なニーズに対応できる環境づくり (既存の地域クラブに関しての周知・広報活動、新たな活動種目の立ち上げ支援など) を行っていくことが重要である。

◆ 地域クラブ活動への移行についての意見や質問 (児童・生徒)

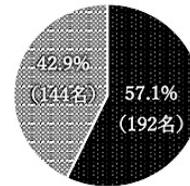
表2. 地域クラブ活動への移行についての意見や質問 (児童・生徒)

地域クラブ活動への移行についての意見や質問	解決すべき課題
「指導者さんは優しいですか?」「上手でなくても大丈夫ですか」「バワハラ、モラハラがないといい」「活動を教える先生がちゃんとした人か確かめる」など	指導者の倫理観への理解と遵守 (グッドコーチの育成)
「部活で嫌な人がいたら辞められるのか」「辞めるときはどうしたらいいですか?」など	入退会手続きの確立

・・・子どもが安心して地域クラブに参加できるように、地域クラブ活動ガイドラインや各団体における運営規約の周知や上記のような子ども目線の意見や考えを丁寧に扱い、安全なクラブ活動体制の構築に取り組んでいく。

◆ 部活動・地域クラブ活動に関わる保護者が抱く負担感について

図3. 部活動・地域クラブ活動に関わる負担の有無



■ はい (負担を感じている) □ いいえ (負担を感じていない)

表3. 負担を感じている内容について

選択肢	人数 (名)	割合
練習や試合への送迎	157	81.8%
活動費用の金銭的負担	70	36.5%
教員や指導者、保護者同士の人間関係	50	26.0%
教員や指導者との情報共有	44	22.9%
休日の活動の弁当の用意	41	21.4%
その他	34	17.7%

n=192

このほか【意見や要望など】においても、送迎に対する不安や心配の声が多く挙げられた (特に、神岡の保護者から)。・・・部活動の地域移行を行う中で「生徒の移動手段の確保」は最も大きな課題の一つ。公共交通機関の活用も含めた移動手段への支援 (運行時間に合わせた活動時間の調整、公共交通機関の減免など) を進めていく必要がある。

◆ 地域クラブ活動に期待することについて (回答者別)

表4. 地域クラブに期待することについて (上位3: 回答者別)

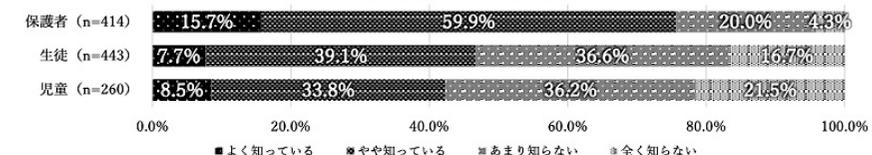
順位	児童n=217 (割合)	生徒n=280 (割合)	保護者n=414 (割合)
1	やりたい種目が選択できる (70.0%)	やりたい種目が選択できる (55.4%)	専門的で丁寧な指導を受けられる (34.8%)
2	他校の友達ができる (67.7%)	他校の友達ができる (51.4%)	他校の友達ができる (31.4%)
3	勝敗や入賞などにこだわらず、気軽に楽しめる (64.5%)	より勝利を目指せる (48.6%)	やりたい種目が選択できる (28.7%)

※各項目に対する期待度を問う質問において「期待している」と回答した割合が高い3つを示す

地域クラブに期待する (求めている) こととして、いずれの対象においても「やりたい種目ができる」「他校の友達ができる」に「期待している」と回答した者の割合が高かった。

◆ 部活動の地域移行に対する認知度について (回答者別)

図4. 部活動の地域移行に対する認知度について (回答者別)



・・・学校と地域と行政が連携・協働し、地域全体で子どもたちを育てる取り組みにするためにも、部活動の地域移行に関わる情報 (本市での取り組みや各クラブの現況など) を保護者を含めた地域住民に周知を図っていく必要がある。

飛騨市認定地域クラブガイドライン

運営規約の策定

- ・役員や会費等を含む規約を作成・公表していること

第1章 総則 → 名称、目的など	第5章 会計 → 経費、管理など
第2章 会員 → 入会、会費など	第6章 指導者 → 保険加入など
第3章 組織 → 役員と職務など	第7章 細則 → 参加停止など
第4章 会議 → 会議の種類など	第8章 規則の改正

市HPに見本あり



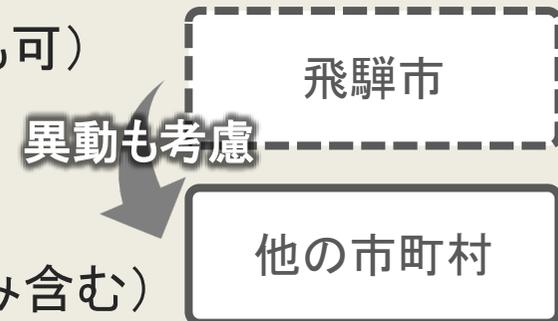
参加者

- ・市内の中学生を中心に構成し、中学生の受け入れが可能であること

適正で持続可能な人員体制

- ・代表者(1名)、指導者(原則、2名以上)を配置すること ※兼任可能

- ・成人に達していること(アシスタントであれば未成年でも可)
- ・健全育成への熱意があり、資質向上に取り組むこと
- ・これまでに前科歴がないこと
- ・市が定める指導者研修を修了していること(修了見込み含む)



飛騨市認定地域クラブガイドライン

適切な休養日等の設定

- ・ガイドラインに沿った適切な活動時間や休養日が設定されていること

(上限)活動日:週4日[平日3日/休日1日] 活動時間:平日2時間/休日3時間

N.A.Jayanthiら他(2015)

1週間あたりのスポーツ活動時間が“年数×1時間”より多い場合、
重度のスポーツ障害が発生する可能性は高い

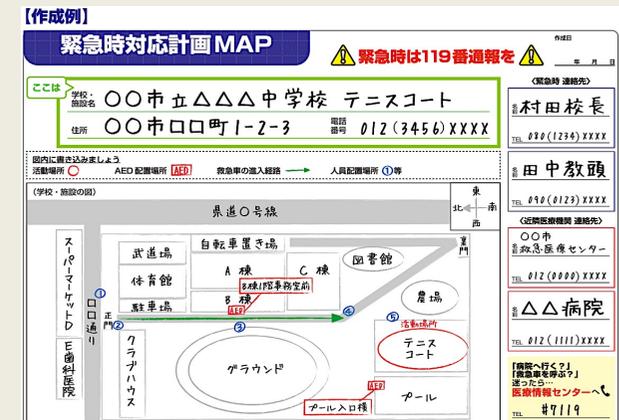


緊急時における安全管理体制

- ・参加者と指導者は、自身の怪我等を保障する保険等に参加すること
- ・救急対応を迅速・適切に行うため、緊急時対応計画を策定すること

- ・学校の保険(JSC災害共済給付制度)は適用外
→スポーツ安全保険等への加入

- ・緊急時対応計画(Emergency Action Plan)の策定
突如発生した事故等に対し、迅速に対応し、
病院までの搬送をあらかじめ想定する計画書



【参考】日本スポーツ振興センター.”スポーツ事故防止ハンドブック”.2020. <https://x.gd/KOVxI>(参照2025-11-15).

飛騨市認定地域クラブガイドライン

口座の開設と適切な会計処理

・**専用の口座を開設し、公正かつ適切な会計処理を行うこと**

・大事なポイント「**誰にも疑われないようにする**」

→個人名義・他団体名義の通帳×(例:飛騨太郎、○○中学校○○部)

法人格のない団体で口座開設に必要な書類等

団体規約

会員名簿

代表者の本人確認書類

取引者の本人確認書類

...

会費の適切な設定と保護者等の負担軽減

・活動の維持・運営に**必要な範囲で、低廉な会費を設定すること**

地域との連携・協働

・活動状況や実績等の情報を、**学校・教育委員会に適時共有すること**

<認定に関わる留意事項>

・認定の有効期間は「1年間」とする(毎年度2~3月ごろを目処に更新手続き)

・認定後に要件を満たさなかった場合、年度途中での取り消しを行う

令和8年度 飛騨市認定地域クラブ 年間スケジュール

3月 地域クラブ・スポ少合同体験会

スポ少や認定クラブの各団体でブースを設けて体験・紹介！

4月 地域クラブ活動説明会

従前の部活動説明会に代わって、認定団体の紹介を行う

5月・11月 スキルアップセミナー

指導者研修にも位置づけ、指導法やコンディショニングに関する最新の知見を学ぶ

指導者研修



2025↔2026

部活動地域移行だより

各年度のスケジュールを掲載しました。必ず各団体のホームページにてご確認ください。

学年別でみた地域移行スケジュール

各年度のスケジュールを掲載しました。必ず各団体のホームページにてご確認ください。

2025年7月～2026年2月

現中3 学校部活動 地域クラブ

現中2 学校部活動 地域クラブ

現中1 学校部活動 地域クラブ

現小6 地域クラブ

現小5 地域クラブ

01 2025年5月13日

地域クラブ活動でも令和7年度秋大会中継に参加できます！

令和7年度秋大会中継は、令和7年度秋大会中継の開催について、令和7年度秋大会中継の開催が決定いたしました。令和7年度秋大会中継の開催は、令和7年度秋大会中継の開催が決定いたしました。令和7年度秋大会中継の開催は、令和7年度秋大会中継の開催が決定いたしました。

お便り配布

9月～11月 新人戦などの秋季大会

地域クラブでの参加！（場合により学校で出場）

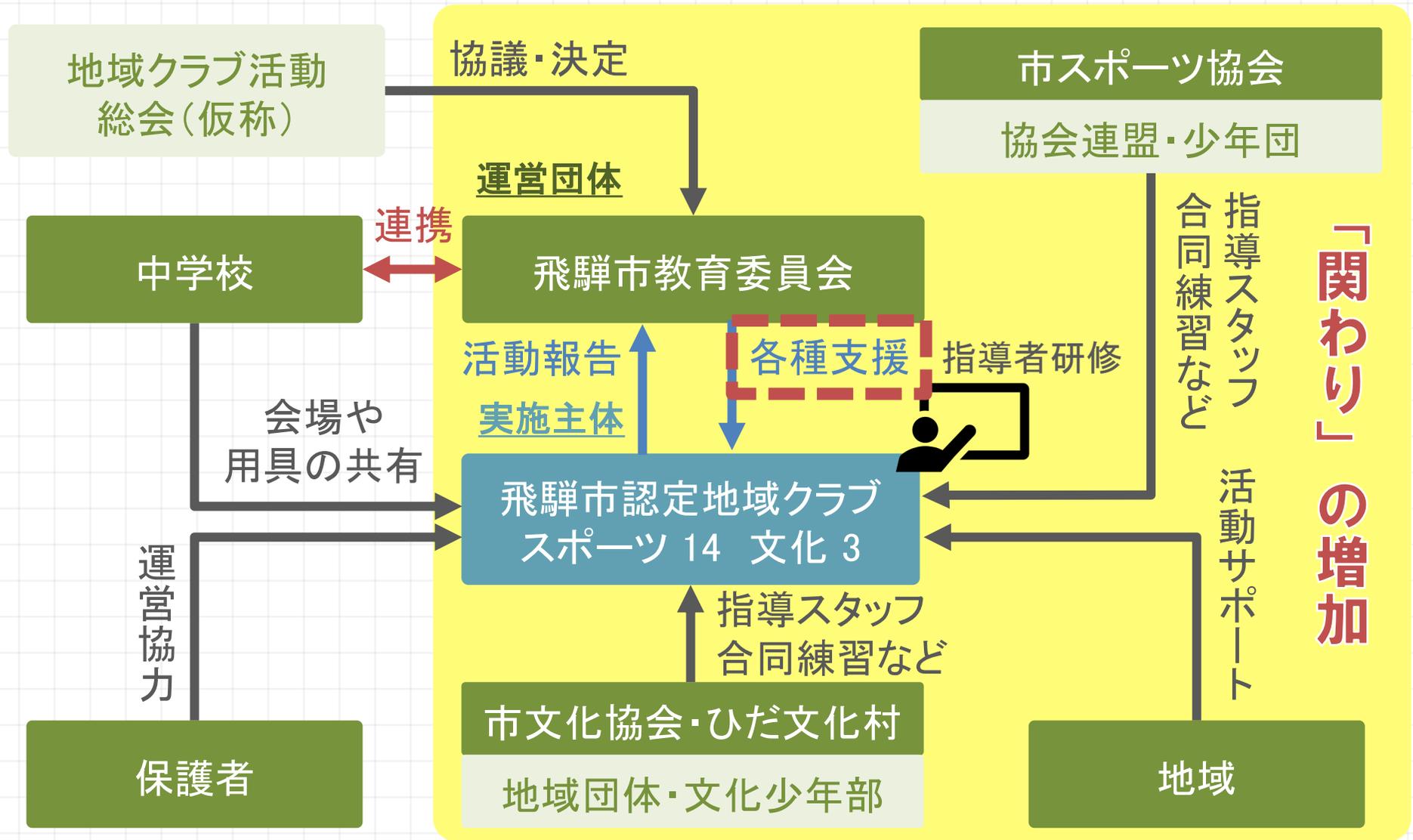
5月～8月 中体連・夏のコンクール

地域クラブでの参加！（場合により学校で出場）

4月・9月・2月 地域クラブ活動総会（仮称）

連携構築・情報共有を目的とし、学校や地域関連団体、認定クラブ代表者で行う総会

飛騨市認定地域クラブでの全体像（令和8年度～）



地域の**多様な関わり**のもとで展開し、**活動の充実**を図っていく

市からの認定団体への各種支援

1 練習・試合時の消耗品等補助金

2 大会参加時の交通費等補助金

3 地域クラブ専用定期券の配布(神岡↔古川)

4 安全管理等を目的とした指導者研修会の開催

5 地域クラブ指導者への謝金補助

6 公共施設利用料の減免制度



市からの認定団体への各種支援

家庭

活動支援

練習・試合での消耗品等

・練習時の消耗品、ユニフォーム代など

☆飛騨市スポーツ・文化活動充実交付金

大会参加時の交通費等

・大会参加時の交通費など(大会区分による)

☆飛騨市部活動等充実支援補助金

古川への往復定期券

・週4回(往復2回分)利用可能(対象限定)

☆飛騨市認定地域クラブ専用定期券

クラブ

指導者

運営支援

公共施設の減免制度

・市内の学校施設や体育施設、公民館での電気料等の使用料金100%免除

指導者研修の定期実施

・教育委員会主催で年2回開催(指導者必修)

☆スキルアップセミナー

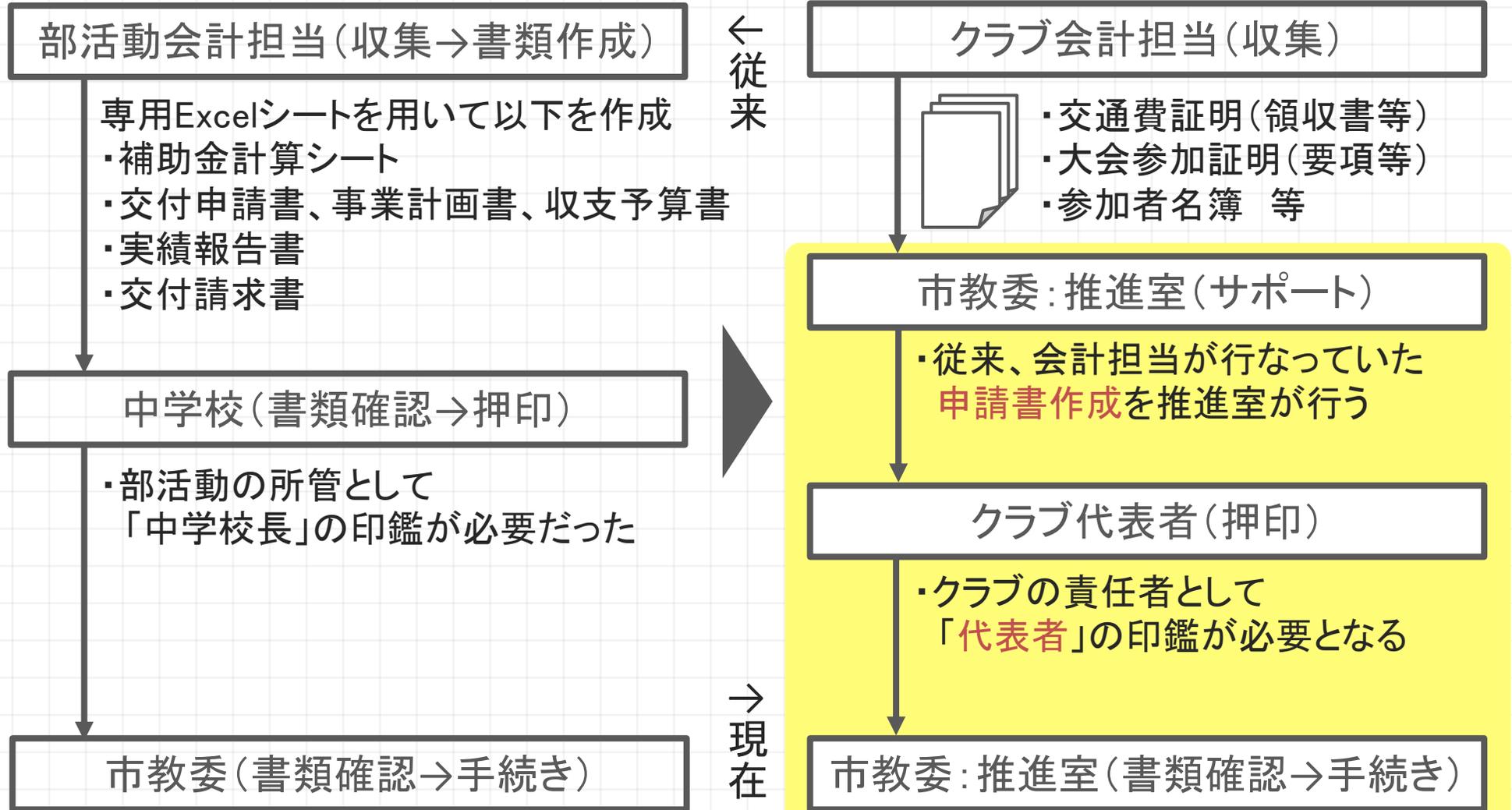
指導者への謝金補助

・活動実績に応じ、市から指導者の謝金補助
※年間での最大上限時間あり

受益者負担の大幅な増加(特に、移動に要する費用)を抑える

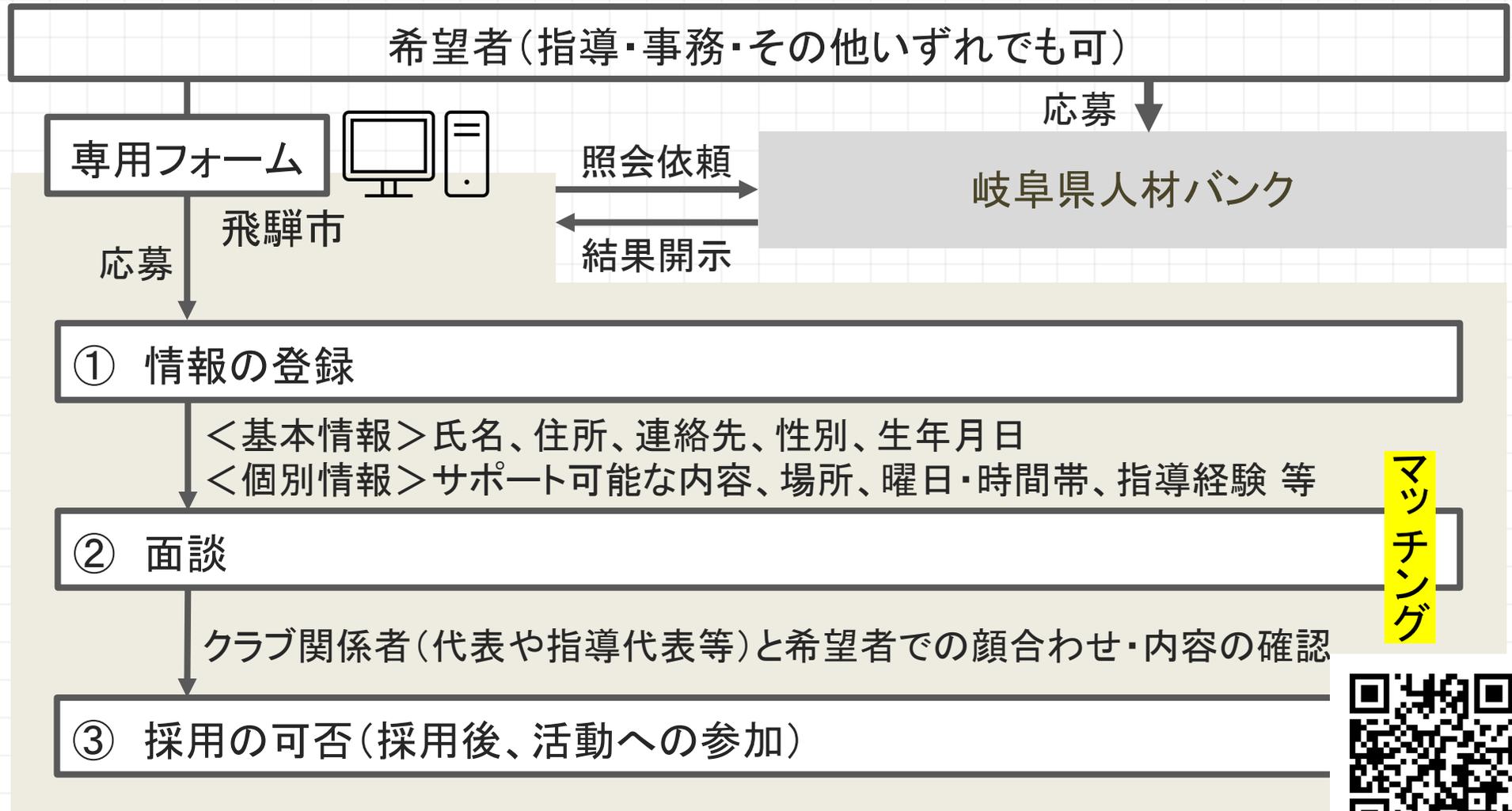
地域クラブの運営事務に関わるサポート

- ・ 地域クラブ指導者の活動状況の取りまとめ
- ・ 地域クラブ活動の推進等に関わる相談窓口としての機能
- ・ 大会参加時の交通費等補助金の申請事務サポート



地域クラブのサポーターの発掘・マッチング

岐阜県が設置した「岐阜県地域クラブ指導者人材バンク」の活用に加え、指導・事務等でのサポート人材を発掘するため、本市独自の人材バンクを運用



改革実行期間の活動の見通し -今後6年間の3つの視点-

第1の視点：子どものウェルビーイング

最も重要な視点

今、そこにいる中学生がやりたいことを、安心して楽しめるか
・・・ **多様な関わり方への理解と学校と協力したサポート体制**

第2の視点：持続可能な仕組み

熱意のある個人に頼りすぎない、無理なく続けられる環境

・・・ **官民連携等を通じたサポートの拡大**（特にヒト・カネ）

第3の視点：地域コミュニティの再編

「中学生の部活動」という枠組みを超えた地域での活動・交流

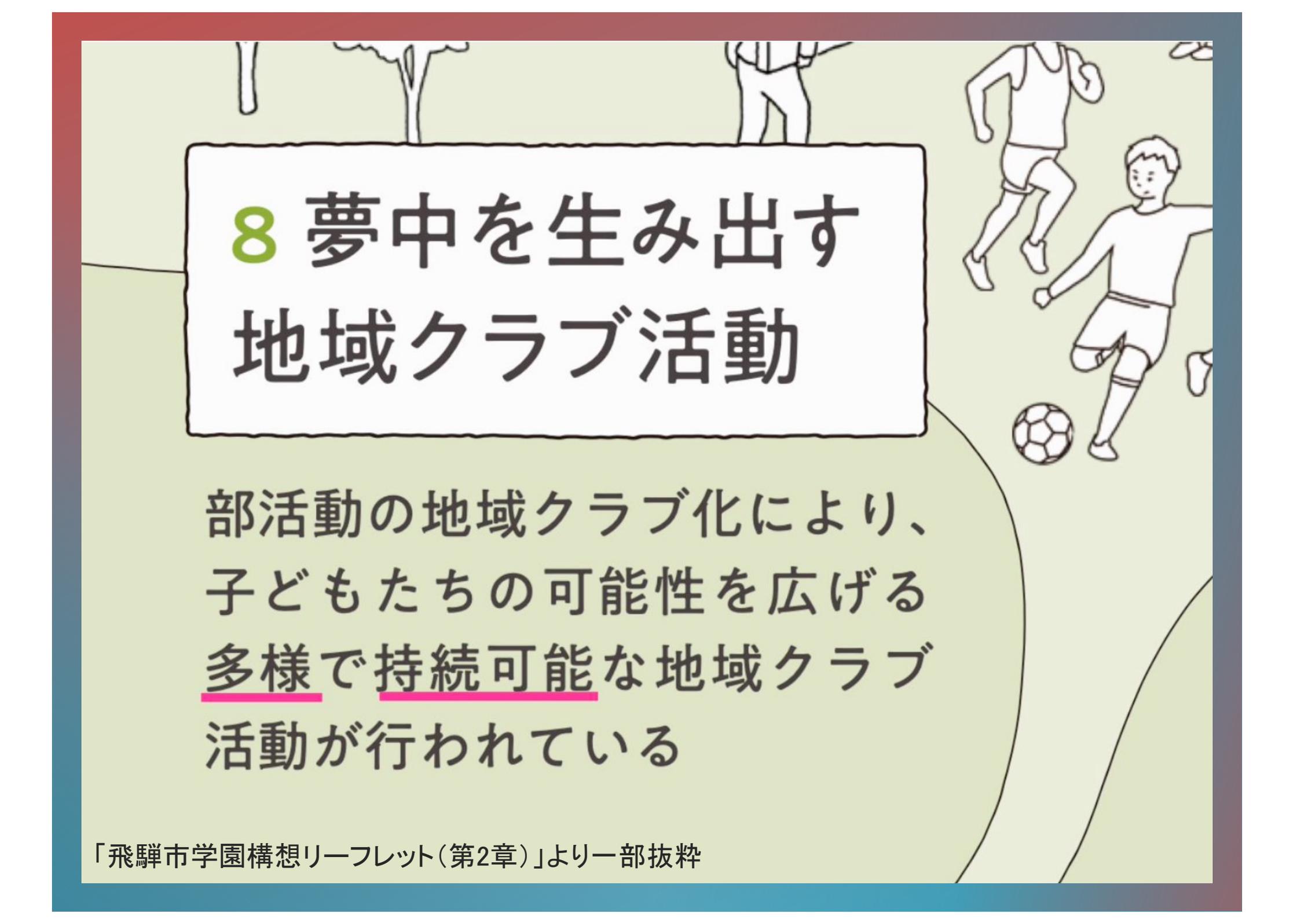
・・・ **多世代交流の促進と地域スポーツ・文化振興**

前期（R8～R10）：地域クラブの運営安定化・地元連携の強化

後期（R11～R13）：社会教育としての確立・企業連携の拡大

改革実行期間の活動の見通し -市としてのロードマップ-

年度	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年	R13年
(国) 改革期間	改革推進期間			改革実行期間（前期）			改革実行期間（後期）		
(市) 運動部活動数	19部活動	18部活動	18部活動	-	-	-	-	-	-
(市) 文化部活動数	7部活動	7部活動	7部活動	-	-	-	-	-	-
(市) 生徒数	528人	507人 (-21)	503人 (-4)	513人 (+10)	493人 (-20)	499人 (+6)	462人 (-37)	463人 (+1)	409人 (-54)
(市) 運営団体での 取組事項	<p>中学校での部活動地域展開の推進 まずは中学生の学校部活動を中心に、スポーツ・文化環境の整備を行う</p> <p>部活動に関わる実態の把握・整理 児童生徒・保護者・教職員等を対象に部活動への意見やニーズを調査・把握</p> <p>公益性のある地域クラブの確立 教育委員会のみでなく、関係する他課、学校や地域団体等、横断的に議論し、持続ある支援を検討・試行していく</p>			<p>地域クラブ活動への全面展開 令和8年度より部活動を廃止し、平日を含めた地域クラブ活動を開始（大会条件によっては柔軟に対応）</p> <p>安定的・継続的な支援体制の確立 支援体制の微調整を行いながら、中・長期に適応できる仕組みを整備</p> <p>活動の充実に向けた地域連携の強化 円滑な運営・持続ある活動とするために、クラブと地域団体の連携強化を行う</p>			<p>小・中一体とした活動環境の整備 将来的な人口減少を見通し、小学生も含めた活動への転換を図る</p> <p><R8からの取組事項における目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブへの参加率 10% ↑（R7.12月時点では約60%） ・地域クラブと協会・連盟との協働（保護者クラブを全体の3割程度へ） ・一定の支援を安定的に実施する 		



8 夢中を生み出す 地域クラブ活動

部活動の地域クラブ化により、
子どもたちの可能性を広げる
多様で持続可能な地域クラブ
活動が行われている



「好き」「やりたい」を見つけよう！！

